

学校評議員会の実施報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校長 水野 慎治

所在地 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 第2回学校評議員会

2 会議の構成

委員

後藤 良平 様	本巣市本巣民生児童委員協議会 主任児童委員
武内 由美 様	もとす広域連合療育医療施設幼児療育センター 施設長補佐
村瀬 秀樹 様	徳山団地 自治会長
木野村文男 様	株式会社 大和 代表取締役
松本 和久 様	岐阜聖徳学園大学 教育学部特別支援教育専修 准教授

学校側

P T A会長	河合 一恵	小学部主事	吉田 孝弘
校 長	水野 慎治	中学部主事	福井 三和子
教 頭	宮川 直樹	高等部主事	後藤 周太郎
事 務 長	富田 芳倫	教 務 主 任	不破 明美

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成31年2月7日（木） 9時30分～12時
場 所：岐阜本巣特別支援学校 校長室
出席者：委員2人、学校側7人

5 会議の概要 (1) 校長挨拶
(2) 授業参観及び施設見学（小学部、高等部）
(3) 30年度高等部3年生の進路先について
(4) 作業製品の価格について
(5) 事務部事業実績について
(6) 学校評価・自校評価について
質疑応答、ご提言
(7) 諸連絡

6 会議の内容

(1) 授業参観（小学部、高等部）

- ・小学部の1時間目の授業
- ・高等部の作業学習（手工芸班、木工班、食品加工班 café 和-なごみ-）

(2) 30年度高等部3年生の進路先について

- ・卒業生29人 一般就労45% 福祉就労（障害者福祉サービス利用）55%
- ・一般就労については新規の企業が多かった。

意見1 B型事業所の工賃制は出来高か？

→そうです。

意見2 就労時間は？

→A型は9～15時または10～15時、B型は9～16時、一般就労は8～17時が多い。一般就労では、夜勤や残業をする場合もあり、高収入を得ている卒業生もいる。

意見3 通勤手段は？

→自力、送迎バス等様々です。

(3) 作業製品に対するご意見

意見1 木の時計には時刻を表す数字が入っていたほうがよいのではないか？

→今後検討し、改善していきたい。

意見2 くまシェルフを椅子と間違えないか？もう少し高くてもよいのでは？

→大人が乗っても壊れないと思うが、座らないように注意していきたい。

意見3 レターセットの便箋は少し大きすぎるのでは？ひと回り小さいほうが使いやすい。

→今後検討し、改善していきたい。

意見4 原価を調べてしっかりと検討してあるので、価格については異論がない。

*提案した販売価格については、すべてお認めいただいた。

(4) 事務部事業実績

- ・平成30年度事業実績と平成31年度施行予定工事の説明

(5) 自校評価についてのご提言等

意見1 会議での情報に加え、行事にお誘いいただき、実践を拝見することで貴校の魅力をたくさん感じる事ができた。“支援の引継ぎ”については、校内での教育内容の充実、支援の引継ぎはしっかり行われていると思う。ただ、支援をつなぐ“卒業後の進路”の部分において、“進路先は保護者が探す”という説明を保護者が誤解しているところもあるようだ。

→保護者には丁寧な対応（情報の提供、OBの声など）に努めたい。

意見2 ケース会議は具体的にどんな場合に開催されるのか。

→不登校や家庭で困っている生徒等について関係機関と連携して行っている。

意見3 café 和を自治会の多くの者が利用している。子供たちも地域とつながり喜んでいるのでは。

意見4 防災は楽しく学ぶ視点が大事。徳山の地獄うどんを取り入れるなど先生方の工夫が素晴らしい。これからも地域と協力して取り組むとよい。自治会としては、集会所に防災備品を並べて子供たちに実際に触れてもらうことや、近所の公園を散歩や避難訓練で活用してもらうことなどを提案したい。

意見5 10周年記念式典では児童生徒一人一人が活躍できるように素敵な趣向が凝らされていた。今後も児童生徒が自立と社会参加に向けて生き生きと活動し、充実した学校生活を送ることができる教育の推進を期待している。

意見6 公開授業研究会では素晴らしい授業を参観させていただいた。この4年間の研究の成果を踏まえて先生方がより専門性を高められ、日々の教育実践に生かされることを期待している。

意見7 先生方はサービス残業が多いと聞いている。自己評価の中に、働き方改革として懇談時間の見直しや留守電を設置したとあったが、勤務状況は良くなってきているのか。地域の小中学校へ行くことがあったが、先生方に余裕がない。余裕がないと気づきができない。先生方に余裕が見られるようになるとよいと思っている。

PTA 会長より

- ・子どもたちの姿を身近に感じてもらえてよかった。卒業後には地域で生きていくことが長いので、地域の方に理解してもらうことが大切だと思う。
- ・働き方改革で先生方のゆとりも大切だと思うが、留守電の設置や懇談時間の短縮などで先生方との連携が少し難しくなってきたと感じる。どこに相談したらよいか分からず一人で抱えてしまう保護者もいるのではないかな。
- ・日々の連絡ノートは大切にしてほしい。子供の見せる顔が家と学校では違うから。先生の方から〇〇はどうですか？と書いてもらえると親もうれしい。子が伸びるような問いかけで子どもを育ててほしい。
- ・良いことをもっと発信してほしい。負の話題は保護者間ですぐに広がる。
- ・PTA 役員のなり手がなく探すのが大変。PTA 活動のスリム化は必須である。

7 会議のまとめ

学校評議員の方々には、1年間をとおして評議員会以外にも、運動会や10周年記念式典、学校祭等様々な行事にもご参加いただき、多角的な視点から教育活動をご覧いただき評価していただくことができた。本日、学校評議員の方々からいただいた貴重なご意見・ご提言については、十分に検討して今後の学校運営に生かせるよう進めていきたい。